



2022～2023年度

第1号
NO.511

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 336-B 7R-1Z
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

地区アクティビティ・スローガン 『地域に寄り添い 未来に繋げる 新たな挑戦』

地区ガバナー・スローガン 『調和と融合 明るく・楽しく・元気よく』

鳥取久松LC会長スローガン 『温故知新』

就任あいさつ

2022-2023年度地区ガバナー L 西尾 慎一



このたび、地区ガバナーに就任いたしました7R1Z鳥取ライオンズクラブ所属の西尾慎一でございます。私の所属するクラブからのガバナー就任は、1969年度の松岡新平ライオン以来、実に53年ぶり、7R1Zからは1997年度の細田繁基ライオン以来25年ぶり、今日まで多くの偉大な先輩方によって築かれて来た336-B地区の舵取りをこの7月から担わなければならないと思うと、覚悟はしていたものの身の引き締まる思いで一杯ですが、これからの1年間、誠心誠意一生懸命頑張る所存でございます。

さて、現在の私達を取り巻く環境は、コロナウィルス感染症の影響により依然として厳しく、満足な活動が出来ない状況が続くものと予想されます。併せて、会員の高齢化や新規入会者の減少、定着率の低下による会員数の減少も活動を妨げる要因となっています。

このような状況を打破し、未来に向かって前進

するためにどうすればよいか…私達は日々刻々と変化する時代の流れに即応していかなければなりません。

ライオンズの輪を広げ、皆で力を合わせてあらゆる困難に打ち勝ち、地域に寄り添った活動が「出来ない」ではなく、「どうしたら出来るか」にまずは方向転換をすることが大切です。

皆の力を結集すれば、どのような難問も解決に導き、次の世代に向けて前進し、よりよい未来を築くためのパワーは十分発揮できるものと信じています。

そのためには、クラブが元気になり、会員が楽しくライオンズライフを送ることが何よりも重要であることは言うまでもありません。

将来のライオンズクラブの発展を祈念し、この一年間皆さんと共に「明るく・楽しく・元気よく」ワンチームで頑張っていきたいと強く思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

7R-1Zゾーンチェアパーソン就任あいさつ

7R-1Zゾーンチェアパーソン L 聲高 昌可



2022～2023年度7R-1Zゾーンチェアパーソンに就任しました。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

ライオンズ歴はまだ浅い私ですが、先輩方よりZCを薦められ大変迷いましたが、頑張ってみようと思いをいたしました。

今年度は西尾地区ガバナーが7R-1Zより25年ぶりに誕生し地区年次大会も鳥取で行われます。6クラブが一丸となって大成功するようご協力よろしくお願い致します。西尾地区ガバナー・スローガンにあるように「調和と融合 明るく・楽しく・元気よく」頑張らしましょう。また、今年度は鳥取LC65周年、鳥取中央LC60周年、鳥取いなばLC55周年、鳥取千代LC40周年、鳥取砂丘LC35周年の5クラブの節目

の年でもあり、色々大変な年度ではありますが、各クラブ会長、幹事さんと連携しながら行いたいと思います。コロナの終息がまだ見通せない状況ですので、ガバナー公式訪問は懇談会のみ行う事とし、合同例会は行わず西尾ガバナーと共に6クラブを例会訪問することとしました。合同アクティビティ等も新たな事は難しいと思いますが出来る事を考えていきたいと思っています。各クラブ共会員増強が一番の課題だと思います。会長・幹事会やガバナー諮問委員会等を通して、他クラブの良い点を参考にしながら増強できたらと思います。6クラブの会員皆様のご指導ご協力をよろしくお願い致します。

キャビネット副幹事就任あいさつ

キャビネット副幹事 L 橋本 和憲



22年度が始まってすでに3ヶ月が経過しようとしています。

5月28日の次期役員研修会、6月18日キャビネット予備会議、7月16日鳥取に於ける第1回キャビネット会議に出席させていただき、昨年度よりの流れ、今年度の国際会長スローガン『皆でやればできる』、地区アクティビティスローガン『地域に寄り添い 未来に繋げる 新たな挑戦』、そして新西尾ガバナーズスローガン『調和と融合 明るく・楽しく・元気よく』等指針とする言葉の意味を心新たに肌身で感じています。

ライオンズとして基本的な方針また新地区ガバナーの考え方が、ZC・クラブ会長を通して伝わり、と同時にクラブの状況がキャビネットに

反映され価値の共有が計れるよう役割を果たせればと思っています。時の流れと共に奉仕活動に対する価値観も変わり、又情報手段当もデジタル化が進んでいます。特にコロナ感染症によりあらゆる面において人と人との交流が難しくなっておりライオンズにおける活動そのものにも悪影響が出てきました。GMT/FWT、GLT、GSTの委員会活動を元の状況に戻し早くライオンズとしての本来の姿を取り戻せるよう、1人1人が世界から必要とされ、誇りをもってライオンと言われる人になりたいものと思います。今の私たちに一番求められるのは、身近な小さな勇気、行動を起こす勇気でしょう。

会長就任あいさつ

会長 L 上田 雅稔



今年度会長を拝命しました上田です。私で52代目ということで、鳥取久松ライオンズクラブの歴史の重みを感じております。新型コロナウイルスと人類との戦いも3年目に突入し、もはや共存状態に入りつつあります。このような状況において、従来からのライオンズクラブの活動内容も中止、変更を余儀なくされてきました。しかし、今後は従来の活動内容を現状に見合う内容に変化させていかなければ、ライオンズクラブの活動もますます低調化し、存続も危ぶまれる事態に直面するかもしれません。すでに会員数の減少傾向が続いているように、従来

の活動内容では魅力がなくなっているのが現状であり、その意味でも、現状に見合う、そして魅力ある活動内容に変化させていく必要があります。今年度は、こうした思いをこめて「温故知新」をスローガンに掲げました。10年先のライオンズクラブを見据え、活動内容をどう変化させていくべきか、会員の皆様とともにしっかり考える一年にしたいと思います。未来の鳥取久松ライオンズクラブの会員が過去を振り返って、「あの年にしっかり考えておいてくれてよかったな」と思っただけの一年になるよう頑張りましょう。

第一副会長就任あいさつ

第一副会長 L 高岡 繁



このたび第一副会長に就任することになりました。私にとっては身に余る重責ではございますが、いままでのクラブでの経験を生かし、精一杯の努力をしてまいる所存です。

コロナ渦で大半のアクティビティーが制限され、例会自体も開催が危ぶまれる状態が続い

ています。これは全世界のライオンズクラブが直面している問題です。朝の来ない夜はないという言葉の通り、決して焦ることなく、ライオンズを心に灯し続けたいと思います。

みなさまのご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

第二副会長就任あいさつ

第二副会長 L 上杉 榮一



この度、図らずも第二副会長を拝命いたしました。

三年目に入ったコロナ渦でのクラブ活動も、少しずつ規制が緩和してきましたが、依然として感染者は高止まりしており、一日も早い終息を願うものです。

ライオンズクラブの活動も、「We Serve」(我々は奉仕する)にある、多くのアクティビティを中止せざるを得ない状況が続いています。このような状況下ですが、コロナ収束を見据え、新入会員の獲得に力を入れたいと考えていま

す。西尾ガバナーの例会訪問の挨拶で、会員のドロップアウトを止めるためにも、楽しいクラブにしなければならないと述べられました。正にその通りだと考えます。楽しいクラブにするためにも、会員や家族の皆さんが集う「クリスマス家族会」や、多くの市民の皆様にも参加できるようなアクティビティが実現できたらと考えます。

上田会長のもとで、会長の補佐役として会員の皆様のご協力を頂きながら責任を全うしたいと存じます。一年間よろしくお願いします。

幹事就任あいさつ

幹事 L 秋山 光行



この度、幹事に就任することになりました。入会3年目にして、このような大役を仰せつかるとは考えてもいなかったもので、責任が果たせるかどうか不安ですが、誠心誠意頑張りたいと思います。

世界は戦争や、未曾有の自然災害、エネルギー危機、食糧危機等、人類の生存が脅かされる事象が起きており、引き続くコロナ禍も相まって、社会全体にやるせなさや無力感が漂う状況ですが、一方で、社会的な規制も緩和されつつあり、思うような活動ができなかった状況から、少しずつ活動の幅が広がりつつあ

ると思います。

ライオンズクラブの活動も忍耐から再出発へと、新しい活動を模索する動きもクラブ内で出てきています。ちっぽけなことであっても皆で何かをやり遂げ、新しい価値を生み出し達成感や充実感を味わえるような活動が出来たらいいと思います。

何分経験不足と力不足で、上田会長をはじめ会員の皆様には何かとご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

会計就任あいさつ

会計 L 武田 行雄



今年度、会計という重責を担うことになりました。昨年度の監査役から正反対の立場ですが、事務局の橋本さんを始め皆様のご協力を頂きながら、しっかりと任を全うしたいと思います。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから2年半余りが経過しましたが、ウイルスの変異に対応が追いつかずの状況が続く、このままでは、未来永劫コロナ騒ぎが続くのでは

ないかと暗澹たる気持ちになります。「病氣」も「景氣」も「氣」が肝心といわれる通り、一人一人の「氣」の持ちようで良くも悪くも方向が決まってくると思います。何事も、「元氣」に「陽氣」に取り組めば明るい未来が開けてきます。歴史ある「久松ライオンズクラブ」です。上田新会長の下『温故知新』のスローガンの下、頑張っていきましょう。





私の青春



▼ L秋山 光行

私の青春時代前期は、寝ても覚めても野球のことと頭がいっぱいの野球小僧でしたが、青年期は世迷い人で、今から考えると自由であったはずなのに、何をやっても中途半端で残念な時代でした。

▼ L尾室 高志

中学3年生の夏、総体地区予選準決勝、PK戦の5番手として蹴ったボールは、ネットを揺らすことはできなかった。その時のシーンは、50年近く経た今でも決して忘れない。

▼ L本谷 清人

私の青春時代はマンガから始まりました。それまで小学生向けのマンガ雑誌ばかり読んでいた私に、中学2年のとき友人が『COM』という月刊誌を紹介してくれたことに始まります。『COM』は手塚治虫が創刊した青年向け漫画誌で、「まんがエリートのためのまんが専門誌」というキャッチフレーズでした。『火の鳥』の連載や実験的な漫画を多く掲載し、プロを目指す読者投稿欄も充実していました。この出会から、私はマンガ少年からマンガ青年になりました。それ以降、興味の範囲はデザインや美術にも広がり、とはいえ貧乏マンガ家や貧乏画家には耐えられそうもなく、絵が描ける理科系学科ということで建築学科に進むことになったのです。一寸したきっかけから人生の方向が大きく決まるということはあるものなのだなあと、今さらながらに感じています。

▼ L武田 行雄

70年代後半にヒットした「青春時代」(森田公一とトップギャラン)の歌詞に「♪青春時代が夢なんて後からしみじみ思うもの 青春時代の真ん中は道に迷っているばかり♪」(作詞:阿久悠)というくだりがありますが、その意味するところが分かるようになることは、自身が歳を取ったことの証です。むかしむかしの一時期、神戸市灘区楠丘町の木造おんぼろアパート(もちろん風呂なし、共同トイレ)に住んでいましたが、アパートの名前が「老松荘」、隣の銭湯が「おたふく温泉」、近所の市場が「地藏市場」といいまして、おめでたい、これぞ「昭和!」な名前だったなあと「しみじみ」思い出しました。

▼ L上杉 榮一

母校、鳥取東高が創立100周年を迎えた。思い出すのは、「東高祭」である。一週間にわたり文化祭や体育祭が開催された。クラス対抗で競い合った「シンボル」作り。夜遅くまで作業に没頭し、中には学校に泊まり込む輩もいた。運動会前日、シンボルを担いで市中行進、全学年35クラスが市内を練り歩き、その長さは1kmにも及んだ、市民からは大きな声援を頂いたが、一方交通渋滞を引き起こし警察から苦情が届き、翌年から3年生のみの参加となった。懐かしい思い出である。



▼ L津川 裕史

部活でバレーボールに没頭しました。中学校では毎日の継続練習の大切さを学び、高校は厳しい部活で成長することの大変さを学びました。高校球児のような青春ではなかったですが、自分の基礎となる時代でした。

▼ L田中 利明

私は若い頃、片岡義男の小説の世界に憧れてオートバイに乗っていました。あの振動、排気音、そして空気の臭いを感じながらのクルージングは何とも言えません。残念ながら、小説に出てくるような完璧な女性との出会いは1回もありませんでしたが…



▼ L橋本 和憲

私にとって青春1940～1950年頃(年齢15～25歳)とすると、高校・大学・三洋電機勤務頃。高校の学校祭の頃『恋愛』、学生時代『親友とテントを担いでの北海道一周旅行』、三洋勤務時代の『外注経営指導』『スキー部活動』くらいですね。

▼ L戸田 暖久

平成8年10月に7名で八栄の会という会をこしらえました。この会は毎年旅をする会で、毎月2万円徴収して1万円は食事会、1万円は積み立てを行ってきました。早速、翌年2月にはグアム島・ロタ島の旅に出かけたのをはじめとし、毎年一回は日本を全部見ようということで、平成29年の北陸能登半島をまわる旅が最後となりました。どこも心に残るところでしたが、日本最北端の離島、利尻島・礼文島と、日本最西端の島、与那国島が最も思い出に残っています。贅沢な旅をしてきましたが、皆歳をとってしまい平成30年に解散しました。20年間元気で旅をさせて頂き感謝している次第です。



▼ L福田 正美

1964年東京オリンピックのすぐ後くらいの写真です。今の体格から見たら信じられませんが、高校時代は器械体操をやっていました。整った練習器具もなく、脱臼・捻挫はしょっちゅう、整骨院とは仲良しでした。



▼ L松下 稔彦

当時市内には数えきれないくらいの喫茶店がありました。友達や彼女と行って何時間も喋ったり、ギターを弾きながら唄を歌ったり、学生には時間がたくさんありました。ジーンズに長い髪が定番でした。今は見る影もありませんが。

▼ L羽場 恭一

9年前に還暦を迎え、一回りしたので、再スタートしたと勝手に思っています。

したがって、後期高齢者になってからが第二の青春だと思い、ワクワクしています。

それまで酒を控えて健康でいたいものです。

▼ L向井 伸

20歳代後半に公務員(東京都庁)でしたが、そのころが青春時代といえると思います。現在の新宿の都庁舎ではなく有楽町の時代でしたが、よく先輩・同僚と鉄軌道下の飲食店に酒を飲みに行きました。バブル経済の時期でもあり、浮かれた世がいつまで続くのかと思っていましたが、やはり続きませんでした。

▼ L吉川 利雄

下宿遍歴の癖? 落ち着かない東京住まい!! 昭和40年4月、荒川区東尾久の父親の友人宅の間借りが始まりでした。次は葛飾区平井。ここは予備校生大学在学・成人が住まい、一般住宅を部屋ごとの間貸しスタイルで仲の良い学生の集まり!? 中学時からの友人と二人で一室に居ました。三軒目は友人と中野区野方に移転。やはり一般住宅の間借りで一人一部屋に。中央線中野駅からブロードウェイを通り、畑のある道を歩いて通いましたねえ。数年間一緒に友人の就職が決まり、私は西武新宿線の保谷駅の隣の農家の二階での間借り生活を.. 通勤時は背中を押されての通勤地獄を味わうサラリーマンでした。今は昔の青春期でした。

▼ L宮部 文雄

あまり思い出せない
遥かむかしのこと
そこまでは うまく飛べない
確か大学時代は 一人暮らしで
楽しかった様な、
美術部が 楽しかった様な、
周辺にイノシシが
たくさんいた様な、..



あ と が き

7月頃からのオミクロン株による第7波、すさまじい感染力にはいささかまいりました。クラブとしての活動もままならず、会報のネタにも困る状況でした。そこで新企画「私の青春」をお願いすることになりました。

皆様の青春時代を覗くのも新たなコミュニケーションのきっかけになるのではと思います。他の企画があれば、ぜひお知らせください。

(MC委員会委員長 L 松下 稔彦)

- 発 行 鳥取久松ライオンズクラブ
- 事 務 局 鳥取市川端2丁目125 鳥取県不動産会館3F
☎(0857)23-6830 Fax(0857)23-4908
- E - m a i l kyusholc@hal.ne.jp
- 会 長 上田 雅稔
- 幹 事 秋山 光行
- MC委員会委員長 松下 稔彦
- 例 会 日 第2・第4木曜日 12:20~13:20
- 例 会 場 白兔会館
鳥取市末広温泉町556 ☎(0857)23-1201